

肝動脈破格を伴う膵頭部癌における破格肝動脈浸潤に対して動脈合併切除を施行した症例の術後肝容積量の推移の検討

1. 研究の対象

本研究参加施設において 2009 年 1 月から 2021 年 12 月までの 13 年間に、膵頭十二指腸切除術を施行された膵癌の患者さんを対象としています。

2. 研究目的・方法

膵癌の根治には、外科的な完全切除が重要です。一部の患者さんにおいて、肝動脈の走行が異なることがあり、その肝動脈に癌浸潤が及んでいた場合、手術時に合併切除が必要な場合があります。しかし、肝動脈の合併切除後の肝容積への影響はまだわかっていません。そこで今回、多施設共同研究で症例を集積し解析することによって、肝動脈破格を伴う患者さんで動脈合併切除を施行した際の影響を検討し、その臨床的意義について検討することを目的として、本研究を行うこととしました。

研究期間：研究機関の長の実施許可日から西暦 2024 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料を研究に用いることはありません。患者情報としては以下の通りです。

- 1) 患者基本情報（性別、年齢等）、手術前後の治療内容、画像所見、臨床検査値、周術期の腫瘍マーカー値、C T で計測した肝容積量
 - 2) 手術に関する情報（手術内容、手術日、手術時間、出血量、術後合併症等）
 - 3) 腫瘍に関する病理学的情報（術後病理組織診断等）
- 生命予後に関する情報（生存期間や生死等）

4. 外部への試料・情報の提供

特定の関係者以外がデータへアクセスできない状態で保管します。対応表は、各施設で保管・管理しますが提供された情報は当施設で新たに対応表を作成し研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

<代表機関>

大阪大学医学部附属病院 消化器外科

研究責任者：大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授 江口英利

<共同研究機関>

大阪国際がんセンター

研究責任者：肝胆膵外科長 和田浩志

6. お問い合わせ先

照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター消化器外科 肝胆膵外科長 和田浩志

大阪国際がんセンター消化器外科

膵臓外科・多施設研究管理室シニアアドバイザー 高橋秀典

〒541-8567 大阪府中央区大手前 3-1-69

TEL: 06-6945-1181 FAX: 06-6945-5099

情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、上記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者及び研究代表者：

大阪大学医学部附属病院 消化器外科

研究責任者： 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授 江口英利